

## 榎原・天神遺跡 (第3地点)

南アルプス市教育委員会 斎藤秀樹

- 1 所在地 南アルプス市榎原
- 2 調査主体 南アルプス市教育委員会
- 3 調査期間 平成 30 年 5 月 21 日  
～平成 31 年 1 月 31 日
- 4 調査面積 1,211㎡
- 5 調査原因 市道八田 13 号
- 6 調査担当者 斎藤秀樹・片山翔太
- 7 調査概要

## 地理環境

本遺跡は御勅使川扇状地の扇端部に位置する。北側には「前御勅使川」と呼ばれる御勅使川の旧流路が明治時代まで存在し、砂礫層が厚く堆積している。東側は、御勅使川扇状地を釜無川が浸食して形成された崖が南北に走り、その崖下には前御勅使川の運んだ砂礫によって小扇状地が形成されている。

## 歴史環境

本遺跡が立地するのは大字榎原で、近世（文化 3 年）の榎原村の石高は 242 石 2 斗 7 合であった。小字は調査区の西側に天神社が祀られていたことから「天神」と呼ばれている。調査区の東側の浸食崖上には、榎原の氏神八雲神社が位置する。八雲神社は近世では天王社と呼ばれていたため、調査区東側の小字は「天王」と名付けられている。調査区南端から南南東に 260 m の地点には平安時代後期で一木造りの十一面観音立像を本尊とする真言宗の長谷寺が立地している。

## 過去の調査～第 1・第 2 地点～

高度農業情報センター建設（平成 12 年）および事務所建設（平成 17 年）にともない発掘調査が行われ、古墳時代前期の畝状遺構、平安時代の竪穴建物 3 軒、平安時代から中世の溝状遺構などが発見された。第 1 地点の溝状遺構からはウマの歯が出土している。

## 第 3 地点調査成果

本調査の結果、平安時代の竪穴建物を 1 軒、平安～中世の溝状遺構を 52 条、中世の土坑墓 2 基、多数の土坑などを検出した。

## 溝状遺構

昨年度調査を実施した 1 区も含めると、遺構の中心は発見された 53 条の溝状遺構であり、52 条の内、

現在の道路と同じ軸で南北に走る溝も多い。今回の調査は南北に走る市道八田 13 号線の拡幅改良工事であり、この道路は現在の「小字天神」と「小字天王」の境界となっている。以上の点から、現在の道路や土地区画は古代からの区画を踏襲したものであり、溝状遺構の一部は道路の側溝と推測される。溝で注目されるのは 22 号溝である。22 号溝は、2 区から 3 区まで調査区内の東側を南北に走り、東端が現道の下であるため幅は不明であるが、最大で約 2.5 m を測る。遺構確認面からの深さは約 23cm で、底面は平端である。溝からは時期不明の銅銭が出土し、また 3 区と 4 区の境界である現在の交差点付近では、溝底面の掘り込みに粘土が堆積し、その上に焼土と炭化物が広がり、そこから甲斐型坏が 2 点出土した。さらにその上層からはウマの歯が出土している。こうした点を考えると、道辻と推測される場所で火と坏を用いたなんらかの祭祀が行われたと考えられる。3 区の 22 号溝に切られた 17 号溝の覆土中から板状で五角形の鉄製品が 2 点、対称的な位置で出土した。ここでは板状鉄製品と仮称する。板状鉄製品には縁が付けられている。奈良・平安時代においてこの形状の鉄製品は東日本での類例がない。X 線写真解析や文献なども含め、現在調査中である。

## 土坑

16 号土坑は 1 区の北端に位置しており、この周辺では 1 基だけ発見された。被葬者は北枕西向きで、顔の部分に坏が被せられていた状態で見つかった。一方調査区南側の 6 区でも土坑墓（205 号土坑）が発見された。出土した人骨から北枕の可能性が高い。六道銭が副葬されていた。

## まとめ

本遺跡の西側には百々・上八田遺跡が隣接している。山梨県が調査した甲西バイパス部分の百々遺跡では平安時代から中世のウシ、ウマの骨が 100 頭以上発見されており、中世に展開した「八田牧」と関連した集落と推測されている。本遺跡はその集落中心域の北東から東側を区画する地域であり、集落の境界であったと考えられる。



榎原・天神遺跡第1地点



16号土坑 土坑墓

天神



1号竖穴建物 カマド



205号土坑 土坑墓と副葬された六道銭

X-37850 +

X-37900 +

Y-1350

Y-1400

Y-1450

第1地点

平成29年度調査範囲

ふれあい情報館

1-1区

1-2区

1-3区

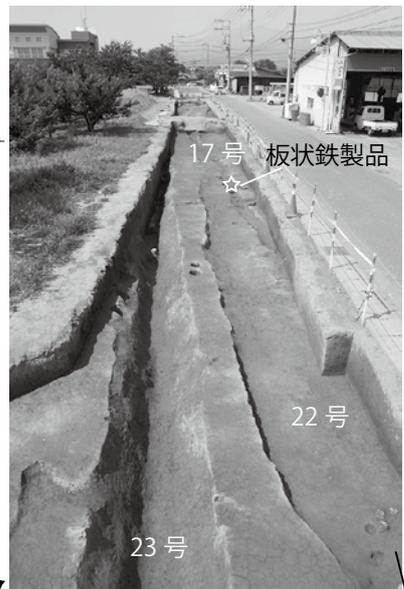
1-4区

1-7区

1-6区

1-8区

1-5区



17号 板状鉄製品

22号

23号

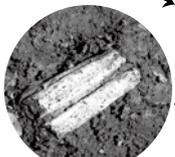
17・22・23号溝 (南から)



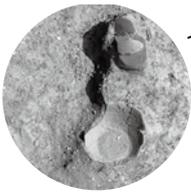
17号溝出土鉄製品出土状況



22号溝出土 坏とウマ歯



ウマ歯



坏



6区 37号溝 (北から)

平成29年度調査範囲  
平成30年度調査範囲

0 20 40m  
S=1:2000